

# 1. 5年生 家庭学習の手引き

- 家に帰ったら、遊ぶ前に宿題をしましょう。
- 時間と勉強することを決めて、勉強を始めましょう。
- 毎日60分以上勉強しましょう。  
(宿題+自主学習 [学年×10分+10分])
- 休みの日も1時間以上勉強をしましょう。
- 正しいしせいと、えん筆を正しく持って始めましょう。

## [1] 家庭学習を始める前に

- 何を学習するか決めましょう。
- その日の家庭学習の目標を決めましょう(お家の人と相談しましょう。)
- テレビやゲーム等のスイッチを切って、勉強のかんきょうを整えましょう。
- ランドセルの中のチェックをしましょう。  
(学校からの手紙や連らく帳をお家の人にわたしましょう。)
- つくえの上をかたづけて、きれいにしましょう。
- えん筆・消しゴム・下じき・勉強の道具の準備をしましょう。

さあ、勉強を開始!!

今日の計画は  
分数の問題50問

## [2] まず、宿題をしましょう。

- 始める時刻を見ましょう。
- 宿題は最後までしあげましょう。
- 困ったときは、家族に相談してみましょう。  
※相談しても分からないときは、担任の先生にたずねましょう。



## [3] 次は、自主学習にチャレンジしましょう。

- 〈国語〉 ○国語の教科書やいろいろな本を声に出してスラスラ音読をしましょう。  
→大きな声で読む。「、」「。」や意味のまとまりに気をつけてスラスラ読む。
- 漢字の練習をしましょう。  
→漢字を1ページ書きましょう。  
→漢字を正しく読みましょう。  
→送り仮名や「とめ」「はね」「はらい」に注意して、形を整え、正しく書きましょう。
- 国語辞典や漢字辞典を使うことになれ、すばやく調べるようにしましょう。  
→初めての言葉や意味の分からない言葉を調べてノートに書きましょう。
- 国語の教科書を段落ごとに要点をまとめ、要約してみよう。
- キーワードに注意して、文章やだん落を短くまとめてみよう。
- 国語の教科書のし写をしましょう。  
→1分間に35~40字を目標に書き写しましょう。
- 〈算数〉 ○計算練習に毎日ねばり強く取り組みましょう。
- 小数のかけ算やわり算を正しくできるように練習しましょう。
- 分数の約分や通分、異母分数のたし算・ひき算を練習しましょう。  
→分母や分子に注意して、計算の仕方を練習しましょう。
- 割合や百分率の見方や考え方を分かるように、くり返し練習しましょう。
- 文章問題から、分かっている数や求める値を読み取って、式を考えよう。
- 教科書やスキル、計算ドリルで問題をとく練習をしましょう。  
→答えを出すまでの計算も必ず書きましょう。  
→問題をといたら、間ちがえていないか見直しをしましょう。  
→間ちがえた問題は、なぜ間ちがったかをふり返し、くり返し練習しよう。
- コンパスや分度器で立体の見取り図や展開図、体積などの図形を書けるようになりましょう
- 〈社会〉 ○日本と世界の国のつながりを調べたり、授業で話し合ったことをまとめたりしよう。

- 世界の国の名前や場所、国旗を調べて、覚えよう。
- 授業で習ったことを、図書館の資料を調べて見ましょう。Webを使って、親子で検索するのもいいですね。
- 習ったことをふり返って、生活に活かしましょう。
- 〈理科〉○身の回りのできごとに興味を持って、「不思議だなあ」「おもしろそうだなあ」と思ったことを、事典や図かんなどで調べ、生活に活かしましょう。
- 実験の器具や手順を覚えたり、結果をふり返り、実験のまとめをしましょう。
- 自由研究の課題を見つけて、自分にできる実験をしてみましょう。
- 〈英語〉○英語の発音ができたら、アルファベットの大文字・小文字の大きさや形、高さに気をつけて書いてみましょう。



## こんなことにもチャレンジしてみましょう。

- 今日の勉強や次の時間に勉強するところを読みましょう。(復習と予習)
- 授業のふり返りやまとめをノートに書く。
- テストのふり返り、正しくできるまで練習する。
- 授業で考えた問題文を書き写し、もう一度自分でといてみよう。
- 問題を作る。
- ほかの問題やドリルをとく。
- 新聞や本を読んで、自分の感想を書く。
- いろいろなジャンルの本を読む。
- 日記を書く(月日を書いて、心にのこったできごとをくわしく書きましょう)。
- じゅく語や慣用句、ことわざを集める。
- 短歌やはい句や詩を暗唱したり、ノートに書き写す。
- 事典(辞典)や図かんで調べる。
- 生き物や花、野さいを観察する。
- 自分の気持ちや考えを整理しながら、心に残った出来事を日記として残しましょう。
- 音楽で習ったリコーダーの練習をする。
- なわとびの練習をする。
- 家庭科で習ったことを使って、家の仕事を手伝う。

温  
故  
知  
新

Oh! Nice. Excellent!



## [4] 家庭学習のあとに

- お家の人に勉強したことを見せましょう。
- 時間割を確かめて、明日の準備をしましょう。
- えんぴつを削り、筆箱の中を整えましょう。
- つくえの上をきれいにしましょう。
- 不要な物が入ってないか確かめましょう。

## 保護者へのお願い

この時期の子どもは、心にも体にも日々成長がみられます。また、大人にも一人前に接してほしいと感じるようになり、自分で考え、行動しようとする傾向が出てきます。

その一方で、相手やまわりのことを考えず、自分勝手な振る舞いをしてしまうことや、まわりの人にどのように思われているのかが気になり、友だちに同調した行動をしがちです。

子どもの言動を見守り、自主的で良い行動は認める、ほめ、励ますようにするとともに、子どもには、自分の行動の影響などを考えられるようにアドバイスをすることが大切です。

- 子どもがやりたいことと、やらなければならないことについて家庭で話し合い、自主性を尊重して学習や家庭での暮らし方の計画を立てさせましょう。
- 時間の使い方を考えさせ、生活にメリハリをつけさせてください。時間を守ることが、自制心や自律心を高め、学習の集中力を上げます。
- 静かな環境の中で、取り組ませてください。(声かけはどンドンしてください。)
- 将来について、夢や希望を語り合い、目標をもって学習できるようにしましょう。